2022.06.05. 携挙前の準備
ヤコブの手紙 4 章 4 節～10 節
JD ファラグ牧師

では、ヤコブの手紙 4 章です。可能な方はご起立ください。私が読みますので、ついてきて下さい。無理な方は、座ったままで結構です。ヤコブが聖霊によって書いています。4 節、

ヤコブ　4

4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。世の友となりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。

5 それとも、聖書は意味もなく語っていると思いますか。「神は、私たちのうちに住まわせた御霊を、ねたむほどに慕っておられる。

6 神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」

7 ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪人たち、手をきよめなさい。二心の者たち、心を清めなさい。

ヤコブを好きになったでしょう？　ますます良くなりますよ。実際もっと酷くなります。 9 節、

9 嘆きなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

お～主よ。私たちは今、あなたが必要です！　わお～、聖霊が必要です。主よ、あなたが教師となって、私たちにお教えください。主よ、あなたがそうされる時、私たちは教えられ易い者でありたいです。 そうすれば、あなたが語られ、導かれる時、私たちは、あなたの御言葉を聞くだけでなくあなたの御言葉に心に留められます。主よ、これには理由があられ、なぜ、あなたがヤコブに霊感を与えこれを書かせられたのか、なぜ、この特定の箇所を聖書聖典に含むレベルにまで上げられたのかどうか私たちに示してください。主よ、私たちはあなたに従い、この時間をあなたに委ね、あなたがいつも忠実であられる通り、私たちの人生に語ってくださる事に大きな期待をします。この時間をあなたに委ねます。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。

では、ご着席ください。ありがとうございます。さて、今日は皆さんに、私が「携挙前の準備」と呼ぶものを、お話したいと思います。このタイトル、どうですか？　その理由は、ヤコブがこの節で書いている事だからです。先週、私はいつものように準備をしながら、聖書を読み、祈り、主を求めていたのですが、この捲し立てるような説教そのものが私にはある意味、衝撃的で、特に、7 年間の患難時代前の終わりの時に、非常に必要な霊的準備を語っているのです。(第一礼拝に) おられた方、「聖書預言・アップデート」でこのことを話しましたね。今、7 年間の患難時代の始まり直前で、つまり患難前携挙が、もういつ起こってもおかしくないと心から信じます。残念なことに、誰もこのことを話していません。教会携挙が間近なのだからこれが一番に語られるべきなのに。携挙は、私たちの祝福された希望だけではなく、私たちの唯一の希望です。(会衆：アーメン)

私たちの唯一の希望は、イエスが、私たちをこの世から連れ出すために来られる携挙です。さて、今日お話しするのは、物理的な準備ではありません。確かに、そういう面もあります。聖書でも「箴言」の中でそのことが語られています。

「賢い人はわざわいを見て身を隠し、浅はかな者（愚か者）は入って行って痛い目にあう。」（箴言 27：12）
それは人それぞれ、状況や気質、境遇によって違うと思います。経済的、物理的な準備については、主があなたに直接指示されます。今日はその話をするつもりはありません。今日話すのは、霊的準備についてです。その内の 9 つを見つけました。皆さんは、もっとたくさん見つけるかもしれませんが、私たちが心に留めるべき「携挙前の準備」と呼ぶ項目は、9 つを下回りません。最初のものは 4 節、シンプルです。「世と親しくしない。」皆さんが私同様なら、そうだと思いますが、もちろん真実は、私たちは、使徒ヤコブの学びに本当に感謝していますが、彼がこれを語る”強さ”を見てください。またそれは正しいのですよ。理由は、世の友は神の敵だからです。ヤコブが、世と親しすぎるクリスチャンを姦通者に例えたのは、大変適切で、次の 5 節でそれが分かります。「聖霊にあなたの全てを委ねる。」です。半分ではなく、全てをです。ヤコブがここで言っているのは、私たちに内在し、満たされる聖霊は、私たち誰しもを、ねたむほどの愛で慕っておられるということです。これは少し難しいです。なぜなら、私たちの肉欲や人間性から、「神はねたみ深い神である」と聞くと、自動的に「神は私たちに嫉妬している」という肉的な嫉妬の観点でそれを組み立ててしまうからです。神は私たちに、嫉妬されるのではありません。私たちのために、嫉妬しておられるのです。神は、私たちみんなのためにねたんでおられます。これはとても重要なことなので、注意して聞いてください。問題は、私たちが世の世俗に親しんでいる事。理由があってそう言います。聞いてください。私たちは、世の世俗に親しむことで無視し、私たちに住まわれている聖霊を悲しませます。聖霊が離れてしまわれることはありませんが、私たちは、聖霊を脇に追いやります。なぜ、私たちは聖霊を脇に追いやってしまうのでしょうか？　この世が私たちの生活、私たちの心に住み着いているからです。私たちは世にいますが、世のものではありません。私たちは、この世にいますが、地の塩であり、光です。（マタイ　5：13）
それが問題ではなく、問題は、世の世俗性で、世にいることで、今や世が私たちの中にいることになる点です。しかし問題は、聖霊が、私たちに内住しておられるのです。そして、聖霊はまるで、、、この描写をお許しください。
「これはどういうこと？　わたしが内住している、ここに住んでいるのですよ。あなたは世を受け入れ、わたしを押しのけています。」聖霊は、ゲスト用寝室に追いやられている感じです。言いすぎですか？
それが、この嫉妬深い愛で、主が慕っておられ、私たちに内住し、私たち全てを慕っておられるのです。私たちの全てを求めておられます。私たちの全ての心を。「第二歴代誌 16 章 9 節」を思い起こしました。木曜日の夜の「エレミヤ書」の学びで、アサ王への預言があり、彼はそれを無視しました。彼は良い王でしたが、しかし彼は聞き従いませんでした。彼は軍事同盟を作り、実際それは成功しました。そして神は、アサ王へ、預言者でさえない人を送られ、預言的メッセージをこの王に言いました。
「主はその御目をもって全地を隅々まで見渡しその心がご自分と”全く一つ”になっている人々に御力を現してくださるのです。」（第二歴代誌　16：9）
こんな風に言わせてください。過去に、聖霊の助けを借りて、私の知っている限りで、このことを説明しようとしました。こう見てください。聖なる生活/Holy Life　全生活/Whole Life　半分ではなく、生活全てです。私が聖霊に満たされるとき、聖霊は私に内住しておられ、私の中には聖霊が住まわれていて、私のすべて＝Whole が、聖＝Holy　です。こんな風に言っていいですか？　私は、半分幸せ/Half-ee ではありません。（幸せ/Happy に掛け、半分幸せ/Half-ee）ー(笑)ー　皆さん、お分かりましたか？まだまだ

これからですよ。分かったと言ってください。聖霊は私たちに宿り、私たちすべてに、この慕う気持ちを持っておられます。問題は、私たちが世とちょっと親密すぎることです。私たちは世にいますが、今や世が、私たちの中にいる。そして、聖霊を悲しませます。もう一歩踏み込んで、次に進みます。その前に、これも本当に大切だと思います。聖霊を悲しませるということは、聖霊を傷つけることです。こんな風に考えたことはありませんか？　これで、あなたの今日が台無しになりますよ。今週全部が台無しになり、予定も狂います。しかし、良い方法です。あなたが目にするもの全ては、聖霊もあなたと一緒に見ておられます。あなたがすることはすべて、内住されている聖霊が、あなたと一緒にそれをしておられます。では、このことについて少し話しましょう。聖霊がたじろがれるのが分かりますか？「ダメ～～」私たちは聖霊を悲しませます。みんながあなたのことを良く言うときは、注意してください。あなたが世と友であるなら、神の敵で、でもそれは双方作用です。神の友なら、世の敵です。イエスがそう仰ったでしょう？
「なぜ、世があなたを憎んで驚くのですか？」（第一ヨハネ　3：12 参照）
「個人的に取らないでください。それは、わたしのせいであり、あなたとわたしの繋がり、あなたとわたしの関係のせいです。世はわたしを憎みました。だから世はあなたがたをも憎みます。」（ヨハネ　15：18 参照）
世があなたの友であり、あなたが世の友であるとき、”大大大問題”を抱えます。そうなれば、聖霊を悲しませます。聖霊がその関係、つまり、あなたと世との間の親しさにねたまれると言うことです。なぜなら、聖霊はあなたの全てを求めておられるからです。あなたの半分でも、4 分の 3 でも、4 分の 1 でも、3 分の 1 でもありません。聖なる人生とは、満たされた人生です。聖霊に満たされているので、何も欲しくありません。満足して、満腹なので、食欲がありません。聖霊に満たされているので、肉の欲がありません。ご心配なく。食べ物の話はしません。もう、よくご存じですよね？　御霊に満たされていれば、ジャンクフードを欲しがりません。満腹で、入る余地がないのです。聖霊にあなたの全てを委ねてください。
３番目。6 節、「高ぶりで戦うことをやめる。」最後にへりくだりについて話しますが、このよく知られた節は、実は「箴言」の引用で、神が高ぶる者に敵対される事を述べています。神は、高ぶる者に抵抗され、神は、高ぶる者を遠くから見抜かれます。神は、高ぶる者を低くされ、へりくだった者を高めて下さいます。至る所に、特に「箴言」に、高ぶり・驕りは常に崩落の前にあり、またへりくだりの美しさが書かれています。そして今、ヤコブがこれを議論に持ち込みます。よく知られた節ですが、この言葉には、神が高慢な者に抵抗されるだけでなく、高慢な者が、実は神と敵対し、神と戦っているという考えが含まれているから、私たちはこの聖句を見逃してしまうと思うんです。ですから、これは「代わりに」の節です。説明します。これは「代わりに」の節の 1 つで、ヤコブは、私たちが神から「もっと」恵みを受ける側になるよう勧め、ある翻訳では、「より多くの」恵みと表現されています。神と争うのではなく、既に神から受けている以上に、です。「私は神と争ってません。」いいえ、あなたは争っています。あなたは、神に真っ向から対立しています。あなたが神に反対しているから、神があなたに反対しておられ、あなたは神の敵です。「どうやって、私が神と戦うのですか？」あなたの高ぶりが故に。繰り返しますが、あなたの心のキャンバスに描く絵、聖書の絵と呼びましょう。いいですか？　神は遠くから高慢な者をご存知です。イメージできますか？　神はこんな風です。
「わたしから離れなさい。離れなさい。あなたは高ぶりでいっぱいです。だから、わたしから離れなさい。わたしはあなたに抵抗します。あなたに反対します。あなたのそばにいられません。」
なぜダメなのか？　なぜなら、神はへりくだっておられるから。高ぶりは悍ましく、謙虚さは魅力的で

す。繰り返しになりますが、謙虚さについては、最後に詳しくお話しします。でも、こんな風に考えたことはありますか？　私たちが高ぶりに満ちているとき、実は、謙虚な神と争っているのだと。イエスがこの地上で公職にあられたとき、イエスが、どれほど柔和で謙虚だったでしょうか。それが分かるのは、子どもたちがイエスに惹かれたからです。イエスの表情や様子には魅力的な何かがあったに違いありません。全く威圧的じゃなかったのです。子どもたちがイエスのもとに駆け寄ろうとし、イエスが弟子たちを叱らなければならなかったという記述は、皆さんよくご存じですね。子どもたちは、私に駆け寄らず、私から逃げますよ。私に駆け寄らず、私から離れますよ。しかし、子どもたちがイエスのもとに駆け寄ろうとするのは、イエスのどこがそうさせたのでしょうか。あの方の柔和さです。決して、決して、決して、柔和さを弱さと同義にしないでください。柔和とは、制御された強さです。イエスの謙遜さには美しさがあり、それが魅力的だったのです。因みに、皆さんが謙虚な人に惹かれるのは、それが理由です。見るべきではない映画ばかりですが、なぜ敗者を応援するのか分かりますか？謙虚だからです。この例を使おうと思います。めったにやりませんが、大丈夫でしょう。私はもう救われていますから。映画を参照します。「ロッキー」「ロッキー28」ではありません。一番最初の作品です。ロッキー・バルボアのどこが魅力的だったのでしょう？
「お～アポロ・クリードと同じリングに上がれる事が光栄です。」彼は大試合に出ていて、華々しくて...「我々は～！！！」そこの話はしない方がいいですね。その歌が、今日一日中、私みたいに皆さんの心に残ってしまいますから。負け犬ロッキー・バルボアの登場です。私は、ロッキーが、アポロ・クリードを倒してほしいです。謙虚で、名もないのですから。ここに高ぶった世界チャンピオンがいます。そこに名もない男が登場し、観客全員が 、「ロッキー、ロッキー！」と叫ぶまで、そう時間はかかりません。ちょっと話しすぎですか？「エイドリアン！」それはラストのシーンでしたね。こう言わせてください。それから先に進みます。私たちが謙虚であるときほど、イエスに似ていることはありません。謙虚さはとても魅力的で、高ぶりはとても醜く、悍ましいです。私たちが高ぶりに満ちているとき、神と敵対しているのです。4 番目、7 節前半です。「神に従う。」これはある種の前提条件であり、私たちが先ず自分を神に服従する時に、私たちがしていることは、実に、自分の支配を神に明け渡します。これは、支配欲の強い人には問題です。誰か分かりますね？　私が手を挙げます。私たちが支配したいと思っています。服従も降伏もしたくない。自分が支配したい。それが問題です。前提条件として、まず自分自身を神に服従することが、最も重要であるのは、いくら強調してもしすぎることはないと思います。次の 7 節の後半にある通り、「悪魔に抵抗する」まず自分が神に従わなければ、悪魔に対抗できる望みはありません。なぜなら、まだ自分で自分を支配しているからです。自分の力で敵と戦おうとしているのは、やはり自分が支配しているからで、私たちが神にご支配を委ねるなら、今や、神がご支配され、悪魔は支配することはできません。悪魔は私たちの人生のある領域を支配しようとしますが、再度、前提条件を言いますと、私たちがまず神に服従することが前提です。私たちは神に委ね、委任し、言うのです。「神様。どうぞ。」そして神が答えられます。「OK。わたしを見ていなさい。」そして今、悪魔はやってきますが、あなたは悪魔に対抗できるのです。どうやって悪魔に抵抗できるのか？　私は神にご支配を委ねたからです。悪魔はこうです。「じゃあ、もう結構。私は行きます。」何なら他の行き先を教えてもいいですが、彼は逃げ出します。悪魔に騙され、彼が実際より強いと思わせられないで下さい。私たちは、どちらかの極端になります。悪魔の力を誇張するか、あるいは過小評価するかの、どちらかです。こちら側は、彼は赤タイツに熊手で、、、ちなみにネタバレですが、悪魔はそんな姿ではありません。私たちが彼を見たとき、唖然とすると言われ

てます。控えめな表現でさえあります。「こいつが国々を欺いた者？？？」「あれが悪魔なの？？？」
私たちは驚愕します。「赤タイツはどこ？」ー(笑)ー
一旦、クリスチャンが神に服従し、ご支配を委ねたら、悪魔は私たちを支配できず、私たちから逃げ出さねばならないのです。あなたと悪魔の間に、常に主を置いてください。直接相手にしないことです。そうでないと、自分の力で相手にすることになります。主はあなたを叱責されます。私が祈るとき、完全な霊的戦いの祈りであるときもありますが、私はいつも祈ります。「主よ、どうか...」ちなみに、悪魔は遍在しませんので、それは悪魔ではありません。悪魔は同時に、複数の場所に居られません。彼は被造物です。ですから、あなたを攻撃しているのが実際に悪魔だとしたら、あなたは本当に価値の高い標的でしょう。悪魔は同時に二箇所にいれないからです。エペソ 6 章で、パウロが言う支配と力、天上にいるもろもろの悪霊、色々な領域の悪霊の実体です。あなたが悪魔に対抗しようとするとき、悪魔とあなたの間にいつも主を置くのです。なぜなら、悪魔はそれには関わりたくないからです。実際、イエスの御名を声に出して祈るだけで、サタンは逃げて行きます。敵はイエスの御名を憎んでいます。私は気がつけば、「イエス様、イエス様、愛しています。」と歌っている自分がいます。すると敵は、「私は出て行くわい！」という感じです。賛美歌を流す。聖句を声に出して読む。その際、必ずイエスの御名を言って下さい。イエスのお名前に、悪魔は震え上がるからです。一般的な 「神様」にならないように。「お～OK。いいね～我々対応できるも～ん。」しかし、イエスと口にすると...常にイエスを優先する。しかしまず、自分の支配をイエスに委ねる必要があります。まずイエスに委ねなければなりません。そうでなければ、傍観的です。自分の支配をイエスに明け渡した時、悪魔に抵抗できるのです。繰り返しになりますが、言い足りません。前提条件と言ったのは、悪魔に対抗する望みを持つには、まず神に服従することが要求されます。そうすれば、悪魔は逃げ出します。
6 番目。ラッパが鳴る前の人類史最後の時に霊的準備をすることです。
そういう時があるとすれば、今です。「主に近づく。」8 節の前半、これはいわゆる相互関係を表す約束で、私たちがまず自分の意志で選んだことを、神が同じように返してくださると約束してくださっています。神は私たちに強制されませんが、私たちが自分の意志で神に近づくことを”選ぶ”時、神は、抵抗することが御出来になりません。主は答えられます。相互関係を表す約束なのです。あなたが主に近づくと、主もあなたに近づかれます。ヤコブが最初に言ったことに戻ると、
「私には十分敵対者がいる、神が私に抵抗してほしくない。神が、私の近くにいて頂きたい。では、どうすればいいのか？」自分が主に近づくのです。的確に言われているのは、もし神が遠くにおられるように見えるなら、誰が離れたのかを考える。少しだけ心に刻んでおきましょう。ここがポイントですが、神は、私たちの近くにいることを望んでおられます。木曜日の夜もこの話をしたと思いますが、私たちの心、人々の心が神から遠く離れている。そして、ヤコブが語るねたむほどこの慕っておられる気持ちは、
「あなたにわたしを必要としてほしいです。」親子さんの皆さん、自分の子どもがこうだとどう思います？「あ～パパとママと一緒に過ごさなきゃ。」「マジ？それなら気にしなくていいよ。しなきゃ、だって？　もう忘れていいよ。そんなあなたなら要らない。」
ダビデは、「朝早く起き、私はあなたを切に求めます。」（詩篇　63：1）
お～、それって、義務ではなく特権で、でも待ちきれないほどで、主よ、あなたと一緒にいたいのです。主よ、私はあなたに近づきたいのです。主よ、あなたを求めます。主よ、私はあなたと一緒に過ごしたいのです。皆さん、「費やす」という言葉が好きかどうかは分かりませんが、一緒に時間を費やす？　あな

たは何も費やしてないではないですか。主よ、私はあなたとの時間を持ちたいです。主よ、あなたとの親密さを持ちたいです。ここで考えてみてください。神の御心は、主は私たちをとても愛しておられ、私たちと一緒にいたいと思っておられます。時に思うのですが...物事がうまくいっている時は...ご辛抱ください。物事がうまくいっているときは忙しく、主のために時間を割くことができないような感じになります。自分が、地上の堕落した罪深い父親ですが、子どもと一緒にいるのが大好きなのです。しかし、子どもたちは色々なことをしていて、いつも忙しくしています。私たちが逆境に陥った時だけが、私たちとの時間が持てると主は、分かっておられるのでは？　と思うことがあります。だから逆境が襲ってくる。
「彼は今、わたしを呼び求めるよ。彼は今、わたしと一緒に過ごしたいと思っているはず。わたしは今、彼を独り占めだね。そう、あなたに見せたいもの、伝えたいこと、してあげたいことが沢山あって、一緒に時間を過ごしたいのです。でも、嫌なら無理にとは言いません。」
ですから、私たちが主に近づくと、う～主は喜ばれます。そして主も私たちに近づいてくださいます。
では、次の 8 節後半は強烈です。こんな風に言ってもいいですか？　どうかお許しください。「自分の罪を罪を悔い改めよ！」ほら、そう聞こえますよね？　問題があります。この特異な聖句は、聖化ではなく、救いというレンズを通して見ると、大きな誤解を招く可能性があるからです。どういう意味か、説明させてください。ヤコブはクリスチャンに宛に書いています。この人たちは信者です。既に救われている、兄弟姉妹たちです。これは悔い改めれば救われるという意味ではありません。そうではなく、あなたはもう救われています。これは救いの話ではありません。聖化についてです。再度、その強さです。
「罪びとたち。手をきよめなさい。」なぜか、そう叫ぶと気分がいいです。でもそうなんです。ー(笑)ー
「そして心を清めなさい？　ちょっと待ってください。もう救われているのです。どういう意味ですか？」
お～、ちょっと待ってください、分かった気がします。つまり、もっと罪を重く受け止めなければいけないということですね。「悔い改める 」という言葉について簡単に話しましょう。この言葉の意味について、誤用や誤解があるように思います。つまり、一人歩きしてしまったのです。「悔い改める」という言葉を口にした時、背筋がゾクゾクしませんか？「悔い改めよ！」お～悔い改めなければならない。悔い改めるとは、ただ単に 180 度、心を変えるという意味です。あなたが心を変えたとき、それが悔い改めで、180 度変わり、神はあなたの心を変え、あなたの心を清めてくださるのです。それが聖化です。主はあなたを清めてくださる。主はあなたを浄化されます。しかしそれが再度、前提条件です。前提条件なのです。私たちは罪を真剣に受け止めねばなりません。神はそれを強制されません。私たちは悔い改めねばなりません。私はもう救われました。救われるために何もしなくていいのです。私はもう救われています。しかし、私は自分の罪を悔い改める必要があると思います。皆さん、それが何であるかご存知ですね。
主はいつも優しく、忍耐強く、恵み深く、慈悲深く、親切で、思いやりがあられ、愛に満ちたお方です。主は、あなたの人生に住み着いたその罪に、そっと指を置かれ、あの静かな小さな声で、仰います。
「それを取り除かねばなりません。あなたは悔い改める必要があります。わたしはあなたを浄化し、清め、聖別したいのです。」そして、これが 9 節を説明するもので、「神からの罪の示しを受け入れる。」
この聖句を読むと、ヤコブがクリスチャンにこう勧めているような印象を受けますよね。「不機嫌に喜びなく、笑いを嘆きに変え、悲しみなさい。泣きなさい。」何ですって？　そういうことではありません。彼が何を言ってるか分かりますか？　彼は、聖霊からの罪の示しを無視しないよう、笑い飛ばさないように言っているのです。非難ではありません。罪の示しです。ですからこんな感じです。悔い改めることがないと、因みに「ローマ人への手紙 2 章 4 節」がとても重要です。人を悔い改めに導かれるのは、神

の優しさです。神のご立腹や御怒りや、裁きや罰ではありません。そうではなく、人を悔い改めに導くのは神の優しさです。神の恵みの杯を味わうと、罪が満ち溢れたところに、恵みはさらに豊かになります。そしてここで、あなたが罪を犯し、神はどうされるのか？　主はあなたにもっと優しさを与えてくださいます。あなたはまるで、不安な気持ちで待つ感じです。「私は撃沈でしょうね？」いいえ違います。「私はその分、償わねばならないんでしょ？」いいえ、違います。わたしが既に代価を全額支払いました。あなたは許されています。あなたはただ、その罪に対する心を変えればいいのです。そして、それを無視してはいけません。だからあなたは、このような教会礼拝に来て、このような説教を聞くわけです。あなたの心を祝福します。そして聖霊からの確信、つまり、聖霊があなたに罪を示しておられるのです。それは良いことです。笑い飛ばさないでください。笑うのをやめ、自分の罪を嘆き、悲しみ、悔い改めなさい。パウロがコリント人に書いた「神の御心に添った悲しみ」です。それが、ヤコブの語ることです。この神の御心に添った悲しみが、真の悔い改めに繋がります。悲しみには、2 種類あることを知っていますね？捕まって悲しいから、ごめんなさい。あなたは悲しくない。捕まったのが悲しいだけです。これを共有します。ええ、そう、もちろん。（JD 牧師、主を見上げる）3 週間前の木曜日の夜、聖書の学び後に、娘と二人で車で帰宅中、カラヘオ高校の前のサドルロードと呼ぶ道路で、そこの制限速度を知ってます？　制限速度は、時速 30 マイル（約 40 キロ）、30 マイルです。あの道路を、時速 30 マイルで走ってみてください。特に H3（高速道路）から降りてから。えっと、、、私は、30 マイルじゃなかったんです。ー(笑)ーそして突然、懐中電灯の光に気づいたんです。青いライトはありませんでした。彼らはなぜ？青いライトにすべきでしょ？　それなら減速するのに。ちなみに、それをする人がいるのは知っていますか。夜中に見たことあります？　家の前が青いライトで照らされている。それで減速します。車で通るたびに 「まさか！」という感じです...まあとにかく、気にしないでください。夜、家に青いライトがあれば、神の祝福がありますように。ー(笑)ー　それで「停まりなさい！停まりなさい！」だから私は停めました。そして、警察官が近づいてきます。私は窓を開け、、、娘が証人です。最初に口から出た言葉は、「お巡りさん、ごめんなさい。 」ー(笑)ー　お～そうですか？彼は、私が時速 16 マイル（25 キロ）もオーバーしていることを示しました。「30 マイル（40 キロ）なのに 46 マイル（70 キロ）でしたよ。「ごめんなさい。ごめんなさい。」それから、もっとさらに悪いことがあります。「ごめんなさい。」って言ってたら、どんどん悪くなっていきました。「それに車検が切れてますよ。」で、私は「嫌になっちゃうなぁ・・・」皆さんも同じだと…そうだと言ってください。というか、彼らはお知らせの通知を出すべきですよ。とにかく...。それで彼は言います。「2 月で期限切れです。」私は「もう終わりだ～。電気椅子の刑だ。落ちていく…これで終わりなんだ～。」そして彼は言うのです。この話には、深い意味があります。彼は私にこう言うのです。「私はあなたをテレビで見ましたよ。」ー爆笑ー「あなたは牧師さんですよね？」なんてことでしょう。。。娘は何の役にも立ちません！「パパ！！！○□▲X○□▲X お巡りさん、丁度良い所で止めてくれました。父はいつもスピード出しています！！」いえいえ、娘はそんなこと言いません。ー(笑)ー　そうしたかったかも。ー(笑)ー　とにかく...それで私は言ったんです。聞いてくださいね。「そうです。本当に申し訳ありません。」ー(笑)ー　それは、神の御心に添った悲しみではありません。それは「捕まる」という世的な悲しみです。さて、、、ちなみに、お伝えしておきますが、彼はとても親切でした。私は、彼を知っている人たちに、お礼を言ってくださいと伝えました。彼は言ったのです。「レーダービデオに写っているから仕方ないですね。」私は「そのビデオ入手は、おいくらですか？」いやいや。ー(笑)ー
私はチケットを切られなかったのです。警告だけだったのです。彼はとても親切でした。あれ？？皆さ

ん、愛は？ー(笑)ー　優しさは？　皆さん、「チケット切られればよかったじゃん！」みたいに見えますよ。ー(笑)ー　ちょっと待ってよ。なぜ私たちの罪は、いつも自分よりも他人の罪の方が悪く見えるのでしょうか？　とにかく、それで警告を受けただけなんです。でも、ここで問題です。実際に効果がありました。そう、悔い改めにつながる神の御心に添った悲しみは、変化につながる本物の悲しみなのです。今やあの道路を走る速度を変えました。ー(笑)ー
というか、たぶん.....どうしても 30 マイルまで落とせないんです。ごめんなさい。どうしてもできないのです。そこに猶予があるのは分かっています。結構頑張ってると思うので、裁かないでください。
今皆さんに裁かれている気がします。今は 37(マイル)くらいです。しかし、私は非常に.....それが悔い改めです。私は変わりました。ー爆笑ー　私たち先に進まないと... ー(笑)ー
「それで、牧師さん深い意味はどこにあるの？」OK。本物の悔い改めにつながる神の御心に添った悲しみは、聖霊の罪の示しによってもたらされます。それが神の嘆きで、神の悲しみです。こうなります。
「神様、本当にごめんなさい。あなたを悲しませ、あなたに対して罪を犯しました。」それが神の御心に添った悲しみです。警告で済んだ。それが、神の優しさなのです。そして、それがあなたを変えます。それが悔い改めです。聖霊からの確信を笑い飛ばし、吹き飛ばし、退けてはなりません。そのインチキくさい偽物の笑いを、本物の神の御心に添った悲しみと嘆きに変えてください。
では最後の 10 節、これは当たり前の事ですね？「主の御前でへりくだる。」しかし、またしても問題発生です。問題とは、謙虚さとなると、謙虚さが問題なのです。言葉遊びのように聞こえるかもしれませんが、私たちが主の御前にへりくだらない限り、主は私たちを引き上げることが御出来にならないのです。そして、私たちの罪の性質のすべてが、このことに苛立ちを感じるのです。謙虚さ・へりくだりは
"自尊心を傷つける（humiliate）"から来ていることをご存知ですか？
「主の御前でへりくだりなさい」（箴言　22：4 参照）
ヤコブも、まもなく学ぶペテロもそれを引用していますね。
「主はへりくだった者には恵みを与え、高ぶる者には敵対される。」（ヤコブ 4:6 参照）
「主の御前でへりくだりなさい、主があなたを高く上げてくださいます。」（ヤコブ 4:10 参照）
そう、その特殊な「箴言」を個人的に JDV（JD 牧師訳）で訳しました。
「主の御前でへりくだりなさい。主があなたを高く上げてくださいます。」は、JDV（JD 牧師訳）にこうあります。
「主の御前でへりくだりなさい。主があなたにそうなさる前に。」
これが問題なんです。私は、謙虚にさせられるより、謙虚になりたいです。謙虚にさせられたくありません。なぜなら、屈辱的だからです。そこがポイントです。低くさせられるのです。主は高ぶる者を謙虚にされ、謙虚な者を高くされます。逆説ですが、これが真理です。そして、それが鍵です。
最後に「第一ペテロの手紙」で締めますが、主の御前でへりくだるべき時があったなら、今です。今、あらゆる瞬間に。未だかつて、、、私が今日の学びの準備をしていて、このような捲し立てるような教えを見ていて、感じ、衝撃を受けるのは、この 1 つ 1 つが”今の私たちに”語りかけているのです。それをするのは、今です。主に近づきなさい。聞いてください。こう言わせてください。クリスチャンがどうやって、、、今、クリスチャンの話をしています。クリスチャンが、主の御前にへりくだらずにどうやって、この先の日々を生き抜き、やっていけるのか、私にはわかりません。「ヤコブの手紙 3 章」で既に見て、話しましたね？　そして「箴言」にもあります。実は、ヤコブの手紙は、、、ご存じですか？　新約聖書の「箴言」

と愛称されています。それは正しいです。そして今日、私たちが学んだ箇所は、その事例の一つです。謙虚さは知恵をもたらします。私は、これからの日々を舵取りする知恵が必要です。そう、謙虚にならないと知恵はありません。(強調して言いました。) 待って。そう言っているのは、これからの日々は大変になると分かっているからですよね？　知恵が必要なのです。ええ、私はもっと謙虚にならねばなりません。私は主に近づいた方がいい。その１つ１つをした方がいい。この終わりの時に、生き抜きやっていく希望があるなら今がその時です。最後に「第一ペテロの手紙５章」で締めくくりたいと思います。５節から、ここで舞台を設定します。これはペテロの話です。彼は今や、年老いています。あの嵐の中で、イエスがおられるのに気づき、「”来なさい”と命じてください。」と言い水の上を歩いた同じペテロです。あまりに強調されすぎているため、ここで置いておきますが、私も同罪です。彼は主から目を離し、沈みました。で「主よ、救ってください。と言っただけ。」違います。ちょっと待ってください。彼は水の上を歩いたんですよ！　どうですか？　その同じペテロです。その同じペテロは、イエスが逮捕された時にローマの衛兵全員に立ち向かい、マルコスの耳を切り落とした同じ人です。正しいことを間違った方法でしました。肉の武器で霊的な戦いをしたのです。ピリポ・カイサリアにいるときの同じペテロです。私たちと一緒にイスラエルに行った人は、イスラエルで最も邪悪な場所で、誰でも連れて行けます。イエスは弟子たちをそこに連れて行き、よく質問されました。

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」(マタイ 16：15)

するとペテロは答えたのです。

「あなたこそキリストです。救い主です。あなたは油注がれた方、神の御子キリストです。　」

そしてイエスは「正しい答えです。幸いです、ペテロ。」同じペテロです：当時は若かった。今は年老いています。今、彼は聖霊に導かれこの手紙を書きます。彼の語る事を聞いてください。

Ⅰ ペテロ　5

5 同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。(そしてここです)**「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。**

6 ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。

7 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。…

「私は不安でいっぱいなんです。」主に委ねなさい。この「委ねる」という言葉ですが、単に「与える」ということではありません。もしくは、そうではなく、それを投げ捨てて、あなたの不安をすべて主に投げ渡すのです。「私は不安でいっぱいです。」では、主に委ねてください。なぜか？

…神があなたがたのことを心配してくださるからです。

8 身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。

9 堅く信仰に立って、この悪魔に対抗しなさい。(対抗すれば、彼は逃げ去ります)**ご存じのように、世界中で、あなたがたの兄弟たちが同じ苦難を通ってきているのです。**

「同病相憐れむ」ということわざをご存知ですか？　それはそれで真実味があります。彼が言っているのはそういうことで、自分だけが惨めだと、特別視されてる気がする。だから、私だけじゃなくあなたにも惨めでいてほしい。彼はそう言ってるのです。キリストにあるすべての兄弟姉妹もまた、とてつもない迫害を受けて、大変苦しんでいるのです。いいですか。これからの日々の傾向は、つまり、私たちの家で

はないこの世で、私たちはとっくに長居していることに同意されると思いますが、日を追うごとに敵意が増しています。

10 あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあって永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたを”しばらくの苦しみの後で”回復させ、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。

私はそれをいただきます。どこに署名すればいいですか？

11 どうか、神のご支配が世々限りなくありますように。アーメン。

わお～、これで纏まりましたね。ええ。今話したことはすべて、使徒ペテロによって要約され、ヤコブがこの終わりの日に私たちに勧めていることを反復しています。最後に１つだけ言って、締めくくります。カポノ、上がってきてください。神の事に真剣に取り組むべき時があるなら、それは今です。遊びやゲーム、教会ごっこをする時期はとっくに過ぎていると思います。私たちの生きている世は、そのような愚かな行為に対して最も容赦しません。今日、私たちの前にある警鐘は、私たちが主との関係を真剣に考えねばならないということです。ごまかすのも、無視するのも、否定するのも止めましょう。罪があれば、悔い改める。神の御心に添った悲しみで。主に近づく。それに主が何を答えて下さるかを見る。そして最後に、謙虚になることです。それはまた別の説教になりますね。ご起立ください。祈りで締めくくりましょう。あ～何と良いですね。難しい教えですが、私は罪を示されました。でも非難ではなく、良い確信です。イエス様。あなたのうちにいる者に非難ではなく、確信があります。主よ、あなたがヤコブにこの文章を書かせられた強さに感謝します。

主よ、今、私たちは一日を過ごすにあたり、ここから先は聖霊にお願いする必要があります。

主よ、私たちは謙虚になり、主に近づき、罪を悔い改めた者たちに数えられたいです。今説教を続けませんが、今日ここにいる人、あるいはオンラインで見ている人のために祈りたいと思います。主が本当にあなたの心に語りかけられたなら、あなたは今、それに答える必要があります。あなたと主との間の、自分の心の静寂の中で、ただ答える必要があるのです。主は何かに指を置かれたかもしれません。主はあなたをとても愛しておられます。

主よ、感謝します。あなたは、私たちにとても優しくしてくださることを感謝します。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7